

[037]九州大学ビジネス・スクールニューズレター

<https://hdl.handle.net/2324/6767964>

出版情報：九州大学ビジネス・スクール ニューズレター. 37, pp.1-, 2022-11. Kyushu University
Business School

バージョン：

権利関係：



編集発行▶九州大学ビジネス・スクール 担当▶QBS支援室 住所▶〒819-0395 福岡市西区元岡744 電話▶092-802-5558
メールアドレス▶qbs@econ.kyushu-u.ac.jp f▶facebook.com/QBS.MBA

DBEX始動！

QBSでは、2022年から「デザイン×ビジネス×アントレプレナーシップ専修トラック (Design/Business/Entrepreneurship Crossing Track, 略称:DBEX)」をスタートさせました。

近年のビジネスでは、「モノ」が使われる際のユーザー・エクスペリエンス(UX)や「モノ」を介するサービスの仕組みを包含する「コト」の概念が重視されるようになりました。さらには、「モノ」が使われることで実現される組織や社会のビジョンを描く行為も含めて、広義なデザインに対してビジネス側からの関心が高まっています。

また、不確実な時代環境において、まだ顕在化していない需要を見出し、それを事業機会として捉え、そこから新たな価値を創造するアントレプレナーシップは、ビジネス・パーソンが持つべき素養としてますます重要性を増しています。

このように、近年のビジネスがデザインやアントレプレナーシップと緊密化する傾向を捉え、これらの専門領域が融合した教育をQBS・芸術工学府・QRECの三部局連携により提供します。これによって、「MBA(経営修士)が包含する経営マネジメント能力を有し、デザインの力を駆使しながら事業機会を発見し、新たな価値創造に挑戦するアントレプレナーシップ溢れる人材」を育成します。

QBSの修了要件を満たしたうえで、DBEX科目群から所定の単位数を修得した人には、MBAの学位に加えて『DBEX修了証(サーティフィケート)』が授与されますので、多くの方に、関心を持って学んで頂くことを期待します。



特別選抜入試説明会のご案内

日 時：令和4年11月30日(水) 19:00~21:00
会 場：JR博多シティ10階 会議室C+D (福岡市博多区博多駅中央街1-1)
内 容：九州大学ビジネス・スクールの概要と特別選抜入試について、修了生による座談会等
参加申込：参加ご希望の方は下記のお申込フォームよりお申込みください
<https://qbs.kyushu-u.ac.jp/form-sys/>



「説明会ご案内ページ」

※なお、当日に会場にお越しいただくことが難しい方は、オンラインでもご参加いただけます。
申込時に「会場」もしくは「オンライン」をお選びください。

九州大学ビジネス・スクール[MBA課程]
2023年4月入学生(21期生)

特別選抜入試

変革をリードし、新たな事業価値の創造に挑戦する意欲を持つ学生の募集を重点的に行うため、特別選抜を実施します。

出願期間／2022年12月22日(木)~2023年1月4日(水) 17時まで
(土日祝日及び12月29日~1月3日は窓口受付なし)
試験期日／2023年1月22日(日)
募集人員／若干名
選抜方法／書類審査・口頭試問ほか
合格発表／2023年2月15日(水)

入学試験に関するお問い合わせ先

〒819-0395 福岡市西区元岡744
九州大学人文社会科学系事務部学務課(QBS担当)
TEL▶092-802-6383
E-Mail▶jbc-qbs@jimu.kyushu-u.ac.jp
ホームページ▶<https://qbs.kyushu-u.ac.jp/>

「アジア・ビジネス戦略」担当の招へい外国人研究員 南京大学Chunyan Jiang先生からのメッセージ

It is my great honor to be invited by Prof. Hoshino and QBS as a visiting professor to teach Asian Business Strategy again this term after more than ten years when I first taught this course on Hakozaki Campus in 2008.

This course is designed to help students understand the concept of competition and the role of management in the process of formulating, implementing and evaluating strategies in Asian countries. Key topics include analysis of business environment, sustainable competitive advantage, business and corporate strategy, competitive dynamics, and strategies for the digital economy. Throughout the course, the focus is on the foremost issues in running a firm in Asia. "What are the key factors that increase a firm's competitive advantage?", "Why do some companies succeed and some fail?", "How do general managers make the right strategic decisions?"

Hopefully, upon completion of this course, QBS students will be able to complete the following key tasks: (1) Understand the historical and cultural context of Asian business and management; (2) Recognize implications of Asian economic and social experiences; (3) Identify key features of Asian management environment and practice (innovation, entrepreneurship, human resources, international business); (4) Analyze the sustainability of Asian business systems.



Prof. Chunyan Jiang, Ph.D., Nanjing University

QBS説明会を博多および伊都にて開催

本年度のQBS大学説明会が3回にわたり開催されました。初回が6月12日(日)に、2回目が8月3日(水)にJR博多シティ会議室にて開催され、それぞれ約70名の参加者にお越しいただきました。会場ではQBSの概要説明、教員による「模擬講義」や「学生の声を聞く」と題した、社会人学生である修了生・在校生のリアルな声を聞くことができる機会となりました。

9月10日(土)には会場を伊都キャンパスに移して、QBSオープンキャンパスを開催。力丸美和助教がモデレーターとなり「職場や家族の理解をどのように得ているか?」、「QBSのハイブリッド講義について」、「週末の伊都キャンパスへの通学について」、「QBSで印象深かったこと」などをパネルディスカッションでお伝えいただきました。プログラム最後の質疑応答では、会場そして遠隔の参加者からも質問がなされ、閉式後のキャンパスツアーにもたくさんの皆様にご参加いただきました。

この場を借りて、ご登壇いただきました在校生、修了生に御礼申し上げます。

QBS支援室



Welcome to Fukuoka!

今年も後期に交換留学生を迎えることになりました。中国、タイ、フィリピンから総勢7名の留学生が仲間に加わります。昨年度まではコロナの影響により、オンラインでの受け入れでしたが、今年は来福が実現しました。博多・伊都の講義室で一緒に講義を受けることができます。後期の講義開始時点で既に3名が来福されており、残りの方も順次、渡航の予定です。学生会の方でも、万全の受け入れ態勢で臨んでいます。20期のロジャーさんをリーダーに阿部さん、嶋田さんという語学力、教育分野への知見の深いメンバーを中心に20期総勢12名のサポートチームで対応します。

10月4日の後期開講に先立ち、10月1日に交換留学生とQBS学生による歓迎会を実施しました。交換留学生たちはさすがの語学力です。ますます多様性に富むQBSの後期の講義、期待大です。

生島 正樹(20期生)



今年度のラウンドテーブル・ミーティングを実施しました！

去る9月17日（土）の夕刻、今年度のラウンドテーブル・ミーティングが実施されました。ラウンドテーブル・ミーティングは、教員と学生の相互理解を深め、QBSをより良くするためのフランクな意見交換、アイデア出しの場とすることを目的としています。

昨年のミーティングからは、インフォメーションボード上への学生掲示板と、キャンパスを使った謎解きイベントが実現しています。

当日は、教員6名と学生38名が、Zoomのブレイクアウトルームを使って様々なディスカッションを行いました。写真を撮るのをすっかり失念してしまい、ご覧いただけないのが残念ですが、和やかな雰囲気でもとても良いミーティングとなりました。

この後、学生会とQBS執行部教員がフォローアップミーティングを行い、アイデアの具体的な実行プランをまとめていく予定になっています。

小城 武彦(コーポレート・ガバナンスと監査、マネジメント・コントロール)

KAICO(株) 大学発ベンチャー表彰 2022受賞

KAICOは私がQBS在学中にそのコア技術と出会い、修士論文として事業化計画を作成し、先生方とQBSメンバーで立ち上げた会社です。QBS修了から7年が経ち、今般大学発ベンチャーとして名誉ある「科学技術振興機構理事長賞」を頂けたことを大変嬉しく思います。

KAICOは、昆虫の蚕を使って主に医療用の高機能なタンパク質をつくる会社です。これまでは研究開発がメインでしたが、今年度からは事業化・製品化フェーズへと移行しています。またワクチン開発においては、対象範囲を動物からヒトへ、形状を従来の注射型から経口型へと、その開発領域も広がっています。

これまでの道のりは決して修士論文の事業計画通りには進まずピボットを何度もしてきましたが、ビジョンに共感してくださる仲間や企業と出会い、KAICOの可能性を広げてきております。これからも多くの方々と共に、その可能性を実現なものとしていきたいと思ひます。

大和 建太(11期生)

LIVE QBS始動！QBSホームページの動画コンテンツご紹介



「QBSの在校生や修了生のお話を伺いたい」というQBSに関心をお持ちの皆様の声に応えまして、「LIVE QBS」の新シリーズが始まりました！

在校生からは、薦田拓也さん(19期生)と鈴木三佳さん(19期生)にご登場いただき「就学期間2年間のタイムマネジメントについて」「QBSのハイブリッド授業を受けてみて」など、QBSの最新情報を語っていただきました。また、仕事や家庭とQBSの両立を知りたいとの要望が毎年多数寄せられるため、2人のお子さんを育てながら、働きながら、通学されている鈴木さんに、子育て、仕事、学業と、どのような毎日を過ごされているのかをご紹介します。



修了生からは、10期生 増本衛さん(株式会社トルビズオン代表取締役)と10期生 韋東明さん(WeHealth株式会社 代表取締役)にご登場いただき、QBSの学びがその後のキャリアにどのように役立ったかを語っていただきました。QBSで得た学びやネットワークを活かし、増本さんは上空シェアリングサービス「sora:share」を展開されており、QBS在学時に留学生だった韋東明さんは、中国と日本をつなぐ医療サービスを展開されています。

この4名がQBSの魅力を存分に語る動画コンテンツ「LIVE QBS」を、皆様もぜひご高覧ください。

https://qbs.kyushu-u.ac.jp/students-voice/students-voice_sub/

力丸 美和(QBS支援室)

在校生紹介



陳 芷晴さん(19期生)

所属▶九州農水産物直販株式会社(輸出商社)

私は香港出身の陳芷晴と申します。将来はより全面的な国際業務の担当者として活躍することを目標としており、さらにビジネスに関する深い知識を勉強したいと考え、QBSの進学を志望しました。

最初に私の母国語は日本語ではないので勉強についていけるかどうか心配でしたが、学期が始める前にQBSは多くのサポートをしてくれました。例えば、昨年度先輩に連絡を取っていただき、分からないことがあれば直接聞けるよう、配慮していただきました。また、QBSの学生たちは国際業務に非常に興味を持っており、様々な国の相違について積極的に交流を行いました。

QBSでは、多くの人と交流することができ、さまざまな分野を学ぶことができました。毎日が忙しかったのですが、たくさんの方のサポートのおかげで、とても楽しい日々でした。修了後、仕事をうまく対応できる能力を身につけ、修得した知識と人脈を大切にしながら、職場や生活上にも活用したいと思ひます。



吉田 旭さん(19期生)

所属▶日本メドトロニック株式会社

皆さんはこのような不安を抱えていませんか？QBSに興味はあるが、本当に仕事と勉強の両立ができるのか？私も同じ境遇でした。今はあの時、志願を決断した自分を評価したいと思ひます。今、振り返るとQBS受験前に、やりたい事の棚卸ができ、強い信念が芽生えました。入学直後は新しい生活に戸惑いを感じましたが、この信念が内発的動機付けになり、授業で学習した事を業務で即実践するサイクルが定着し、業務効率が向上していると実感しています。結果、タイムマネジメントが高まり、両立できています。またそれ以上にQBSでは授業以外で得られるものが多いです。学生同士のコミュニケーションから新しい価値観を学べること、経営者と討論を通じて視座を高めることができること、そして自分自身の新しい可能性を見出す機会が広がっていることです。人生の可能性を広げる機会を掴むには、あなた自身の踏み出す勇気が必要であると私は思ひます。QBSでお待ちしています！

QAN便り



6月19日、第3回定時総会を開催しました。総会、講演会、アワードとも盛況で、実に4年ぶりとなる対面での大会を成功裏に終えることが出来ました。今期のテーマは“expansion”コロナ後の正常化する世界の中で活動領域を広げアラムナイ同士の組織間連携にも挑戦することを承認頂きました。

2017年に開催されたQBS15周年事業。就任2年目の駆け出しの代表としてパネリストに立たせて頂いた時「まずは日本で一番のアラムナイになろう。そうすれば結果として色んなものが付いてくるはずだ」と申し上げました。それから暫く周囲には目もくれず一心にやってきました。知らぬうちに目標としていたところに近づいているかもしれません。

さて、私事ですが、任意団体3年、法人4年務めた代表を次の総会で退任することを発表しました。組織的に盤石となり、外交的にも今期のテーマを具現化したビジネススクール・アラムナイ・マネジメント研究会(仮称)も立ち上げることが出来て「正直やりきった」感で一杯です。私がやれることは全てやりました。一番良い状態のまま組織運営を引き渡せることは私の自信にもなりますし誇りだと考えています。法人としては初めての代表交代ですので滞りなく次の世代に承継させることが私の裏テーマです。残りの任期で御役目を全う出来るよう尽力したいと思います。今期もどうぞ宜しくお願い致します。

QAN代表 寺松 一寿(4期生/寺松商店)

QBS教員の著書紹介

▶『イノベーション・エコシステムの誕生

ー日本における発見と政策課題』

中央経済社、2022年9月15日出版、3,200円(税別)



本書は、イノベーション・エコシステムの形成を指向する施策を評価するための視点や方法を確立することを目的として、文部科学省と実施した共同研究の成果です。政策的な 이슈を端緒とした研究ですが、そもそも「イノベーション・エコシステム」とは何か、それはどのような構成要件によって成り立っており、どのようなタイプが存在するのかといった基本的な問題を論じています。また、シリコンバレーが有する地域的優位性の源泉が、内部化されたエコシステムの多様性であることを解明しています。企業が単独ではイノベーションを実現できなくなった状況に対して危機感を持たれている実務家に是非読んで欲しい一冊です。

永田 晃也(イノベーション・マネジメント、知識マネジメント)



アーサーアンダーセンにいた頃、東洋経済から「連結財務戦略」という本を出版し、これは監査顧客の連結カンパニー制導入のための教科書となった。QBSに来て「企業財務」と「企業価値創造とM&A」の教科書として中央経済社から「コーポレートファイナンス」と「事業ポートフォリオの最適化」を出版した。私の研究は国民経済計算統計から財務諸表を作成・分析して最適化を検討するものである。大学に赴任

直後の2004年に東洋経済から「日本の財務再構築」を出版し、同文館から2015年に「ネットの政府」というアップデート版を出版した。創成社からは、2008年に「M&Aアドバイザーの秘密」、2013年に「東北アジアの真実」という一般向けの本を出した。

村藤 功(企業財務、企業価値創造とM&A)

修了生紹介



山内 龍次さん(16期生)

所属▶株式会社 Shiftall

QBSへの入学時、私はパナソニックの監視カメラ事業で技術営業をしていました。「技術の社会へのお役立ちを最大化したい、その為にスタートアップ都市福岡という立地を活かした大企業インテグレーションとなり、そんな人を増やしていきたい」と思い、QREC(ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター)や起業部とも関わりを持てるQBSを受験しました。

在籍中は、ロシア出向、それに伴う2年間の休学、監視カメラ事業の独立会社化、設計や企画への異動、COVID-19流行等、変化の多い4年間で、その分、得る事が出来た学びや仲間も多かったように思います。またQSHOP、QBSビジコン、起業部や産学連携マネジメント、Entrepreneurship Bootcamp、合同ゼミ等で、アントレプレナーシップを学び実践できたのは、本当に良い経験でした。

その結果、まず自身がアントレプレナーとして実力をつけたいと思うようになり、修了後はスタートアップ企業へ転職し、九大発スタートアップで副業も行い、継続研鑽しています。



中山 寿巳子さん(17期生)

所属▶国内自動車メーカー

「中山さんと一緒にチームでよかった。」

合同ゼミでビジネスプランニングに取り組み、その最終発表会の夜に中国人留学生が言ってくれた言葉です。QBSでの勲章です。

育児退職後に英語学習を始め通訳者になった私は、金融機関での通訳の際に“Moment of Truth”が訳せず、ビジネスを学ぼうと入学を決意。ICABE大連では中国の発展を肌で感じてきました。上海交通大学留学はコロナで断念。半年間、上記のチームで毎週夜遅くまで討議することになりました。

30代の男性2名と50代の私。一時はチーム存続の危機でした。先生方の厳しいご指摘を受け、プレゼンの方法や新規性と実現可能性のあるビジネス創出に苦闘しながらも、リーダーの強い意志のもと、無事に最終発表を終えました。

年齢や性別、国籍を問わず共に学び、議論した経験が評価されたからでしょう。50代後半で新規開発部門のインハウス通訳者として新たに職を得ました。職場でも信頼を得られるよう、学び続けます。

